

改訂前の計画における減量化目標達成に向けた施策の実施状況

改訂前の計画に掲げられていた減量化目標達成に向けた施策の実施状況を取りまとめています。
なお、これらの施策は、本計画にも引き継いでいます。

1) 家庭系ごみの発生抑制・減量化・資源化施策

施策の種類		実施状況			個別施策の実績、経過等 (◆は個別施策の実績、◇は経過等)
個別施策		実施	実 施 に 向 け	構 想 段 階	
			項目数		
		19	3	3	
①発生抑制施策					
食べ残し等の発生抑制の啓発（「買すぎない、つくりすぎない、食べ残さない」の3ない運動等）	○				◆ 広報、各種イベント、出前講座等における啓発（随時）
マイバツクの普及促進、過剰包装の拒否の啓発	○				◆ 広報、ホームページ、各種イベント、出前講座、チラシ（駅前配布）等における啓発（随時） ◆ 「買ひ物ごみ減量推進フォーラムしが」へ参画してレジ袋削減の取り組みを実施（平成25年度～）
環境配慮物品等の使用促進、使い捨て商品の使用抑制の啓発	○				◆ 広報、ホームページ、出前講座等における啓発（随時）
市民団体との協働による発生抑制運動の展開（市民団体への支援）	○				◆ ごみ問題を考える草津市民会議との協働による各種事業の実施（随時）
ごみに関する情報提供（減量効果・リサイクルの状況・ごみ処理コスト等の情報提供、広報媒体によるPR）	○				◆ 「草津市のごみ状況」の公表（年1回）、広報に特集記事を掲載（年2回）
教育機関と連携した環境教育の推進、ごみの出前講座の推進	○				◆ 公民館のやすらぎ学級での出前講座の実施、小学4年生のクリーンセンター施設見学と学習（随時）
②減量化（排出抑制）施策					
ごみ処理の有料化（指定ごみ袋による単純従量制の導入）の検討	○				◆ ごみの排出量や計画の目標数値を考慮し検討（随時）
生ごみの水切り励行推進の啓発（「ひとしぼり」運動）	○				◆ 広報、ホームページ、各種イベント、出前講座等における啓発（随時）
生ごみ処理容器、コンポストの普及促進	○				◆ 生ごみ処理容器購入費補助金の交付、段ボールコンポスト講座の開催による普及啓発
生ごみ堆肥化システムの構築の検討		○			◇ 段ボールコンポストの普及啓発に取り組んでいる段階であり、堆肥化までの仕組みづくりについては検討中
市民農園や学校農園での堆肥利用による循環の環（わ）づくりの検討		○			◇ 段ボールコンポストの普及啓発に取り組んでいる段階であり、堆肥化までの仕組みづくりについては検討中
店頭回収の利用促進（食品トレー、牛乳パック、携帯電話、プリンターナー等）	○				◆ 広報、ホームページ、各種イベント、出前講座等における啓発（随時）
リユース衣類の活用システムの構築の検討			○		◇ 新クリーンセンターにおいて、リユース品として活用できる方策について、今後検討を行う
リサイクル工房の創設の検討			○		◇ 新クリーンセンターにおいて実施を検討（H30年度以降）
粗大ごみの再生利用の促進	○				◆ リサイクルの館において実施（～H25年度） ◆ 新クリーンセンターにおいて実施予定（H30年度以降）
フリーマーケットの開催、不用品交換制度の利用促進	○				◆ リサイクルフェア草津におけるリサイクルマーケット・かえっこバザール（年1回）等の実施
民間リサイクルショップの利用促進	○				◆ 広報、各種イベント、出前講座等における啓発（随時）
③資源化施策					
資源物の集団回収の推進奨励	○				◆ 資源回収活動事業推進奨励金の単価の引上げ 4円/kg⇒5円/kg（H22年度～）
分別収集体制の見直しの実施（資源物収集の細分化、分別の徹底）	○				◆ 古紙類の行政回収の実施、プラスチック製容器包装リサイクル制度の導入（H23年度～）
リサイクル推進員制度や分別指導協力員制度の導入の検討			○		◇ 制度化に向けて、今後検討を行う
ごみ出しの早期分別指導の実施	○				◆ 分別区分変更に伴い、ごみ集積所の分別状況の点検と指導を実施（H23年度） ◆ ごみ集積所の前で町内会役員等と合同で分別啓発を実施（必要に応じて実施）
ごみ処理施設の見学研修の実施	○				◆ クリーンセンターにおける施設見学の受入（随時）
環境イベント等によるリサイクル意識向上の啓発	○				◆ リサイクルフェア草津の開催（年1回） ◆ 宿場まつり、各学区ふれあいまつり等、各種イベントに参加して啓発活動を実施（随時）
資源物拠点回収場所の拡充			○		◇ 回収品目や場所等の拡充について、今後検討を行う
剪定枝資源化システムの構築の検討（チップ化による堆肥化等）	○				◆ 電気式剪定枝粉碎機の貸出（H26年度～）

2)事業系ごみの発生抑制・減量化・資源化施策

施策の種類				
個別施策	実施状況			個別施策の実績、経過等 (◆は個別施策の実績、◇は経過等)
	実施	実施 検討中 向け	構 想 段 階	
	11	1	0	
①発生抑制施策				
ごみ処理手数料の見直しの検討	○			◆ 搬入量200kg以上の場合の処理手数料の改定 【搬入量200kg未満】 110円/10kg 【搬入量200kg以上】 160円/10kg→170円/10kg (平成26年度)
事業者への発生抑制・減量化・資源化の指導	○			◆ クリーンセンター搬入事業所への事業所訪問と指導の実施(平成25年度～)
②減量化(排出抑制)施策				
小規模事業者へのごみ減量対策の推進(オフィス町内会等の新たな仕組みづくり)		○		◇ オフィス町内会は、市内に大規模なオフィスビルが少なく、古くからの商店等が集積する地域は地理的に広範囲となるなどの点から具体的な仕組みの検討にまで踏み込めていない。資源回収の対象とすることについて、検討中
多量排出事業者への減量化計画作成・運用指導の実施	○			◆ 前年度に月2t以上クリーンセンターに搬入した事業者を多量排出事業者として、訪問・指導を実施(随時)
優良事業者の取組事例の紹介	○			◆ 事業所訪問時に紹介を実施(平成25年度～)
③減量化(排出規制)施策				
分別区分体制の見直しの実施	○			◆ 事業系一般廃棄物(焼却ごみ類および可燃性の粗大ごみ)以外の事業系ごみの搬入規制の厳格化(平成23年度～)
プラスチックごみの適正処理の指導	○			◆ 事業所訪問による啓発(平成25年度～) ◆ 展開検査で問題のあった一般廃棄物処理(収集運搬)業の許可業者へ個別指導を実施(随時)
クリーンセンターへの資源ごみ搬入規制の厳格化(古紙類等)	○			◆ 焼却ごみ類への混入状況により、一般廃棄物処理(収集運搬)業の許可業者へ個別指導を実施(随時)
④資源化施策				
食品リサイクル法に基づく食品廃棄物の再生利用の促進	○			◆ 『廃棄物の適正処理ガイドブック』に掲載し、啓発(平成25年度～)
事業系ごみ袋の見直しの実施(可視化による分別の徹底)	○			◆ 中身の見える袋での搬入を指導(平成22年度～)
クリーンセンターでのごみ搬入検査の強化	○			◆ 展開検査の定期的な実施(随時)
適正分別・減量化・資源化マニュアルの作成、配布	○			◆ 事業所向けに『廃棄物の適正処理ガイドブック』を作成し、事業所訪問時に配布(随時)